

試験の概要

- 大学等で教職課程を取らなかった者で教育者としてふさわしい資質を身に付け、教職を志すに至った者に対し教職への道を開くことを目的として創設。（小学校の他に、幼稚園、特別支援学校の試験がある。）
- 本試験に合格した者は、都道府県教育委員会に申請することにより、小学校教諭の二種免許状が授与される。
- 受験資格は、高校を卒業した者、その他大学入学資格を有する者で、20歳以上の者。
- 試験は毎年度1回実施。第1次試験、第2次試験、第3次試験を、それぞれ2日間で実施。
- 試験会場は第1次試験6会場、第2次試験・第3次試験5会場。（いずれも国立大学へ試験運営を委託）

平成30年度実施状況

受験者数:849名

最終合格者数:112名

最終合格率:13.2%

試験科目の内容

	科目	方法	内容
第1次試験 (8-9月)	教科及び教職に関する科目(I)	筆記試験(択一式) 20問(4択)・70分	<ul style="list-style-type: none"> ●教育の基礎的理解、道徳、総合的な学習の時間等の指導法、生徒指導、教育相談等に関する専門的事項
	教科及び教職に関する科目(II)	筆記試験(択一式) 20問(4択)・50分 × 6教科	<ul style="list-style-type: none"> ●10教科のうち、音楽、図画工作及び体育のうち2教科以上を含む6教科を選択 ●小学校の各教科の指導法及びこれに付随する基礎的な教科内容
第2次試験 (10月)	教科及び教職に関する科目(III)	筆記試験(論述式) 大問2問・60分 × 1教科	<ul style="list-style-type: none"> ●10教科の中から1教科を選択 ●小学校の各教科に関する専門的事項及び指導法
	教科及び教職に関する科目(IV)	実技試験	<ul style="list-style-type: none"> ●音楽、図画工作及び体育について、第1次試験で受験したもののうち2教科を選択して実技
	口述試験	口述試験	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校教員として必要な能力等の全般に関する事項
第3次試験 (11月)	指導の実践に関する事項に係る試験	授業観察、指導案等作成、討論等	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校教員として必要な指導の実践に関する事項(試験運営大学の附属小学校を会場として実施)

試験の実施

- 第1次試験 令和元年8月31日(土)~9月1日(日)
宮城教育大学、東京学芸大学、横浜国立大学、静岡大学、岡山大学、熊本大学
計6大学
- 第2次試験 令和元年10月12日(土)~13日(日)
東京学芸大学、横浜国立大学、静岡大学、岡山大学、熊本大学
計5大学
- 第3次試験
東京学芸大学(令和元年11月18日(月)~19日(火))
横浜国立大学(令和元年11月26日(火)~27日(水))
静岡大学(令和元年11月14日(木)~15日(金))
岡山大学(令和元年11月13日(水)~14日(木))
熊本大学(令和元年11月19日(火)~20日(水))
計5大学